

誰もが笑顔あふれる社会へ

SDGsに取り組もう！

SDGsは令和12(2030)年までに貧困や飢餓、不平等をなくし、環境保護、気候変動に対処しながら、「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい未来をつくるための世界共通の目標です。17のゴール(目標)と169のターゲット(具体的な目標)で構成されています。今号では、SDGsの取り組みを具体的に掲げているほか、男女共同参画への取り組みにも積極的な(株)福萬組さんにお話を伺いました。

ゆっパルの由来

この地方の方言で「結ぶ」という意味の「ゆっばる」と、英語で「仲間・友だち」という意味の「パル」からできています。「一人一人の思いが結びついて仲間をつくる」という願いが込められています。



十和田市男女共同参画市民情報誌「ゆっパル」編集委員によるコーナーです。

Interview



所在地 東十三番町15番27号
代表取締役社長 井上 馨
会社概要 昭和25年創業
職員数 76人

主に建設・土木工事を請け負っており、「笑顔」をモットーに多様なニーズに応えている企業。建設業界のイメージを払拭するため、社内PRのダンス動画などをYouTubeで公開したり、プロジェクトチームを立ち上げ、オリジナル作業服を制作したり、工夫を凝らしたさまざまな取り組みを行っています。

また、エコバッグ、タオル、コースターなどのFUKUMANグッズも作り、企業PRも積極的に行っています。

※会社の取り組みなど詳しくはQRコードからご覧ください。



いつ頃からSDGsの取り組みを始めましたか？具体的にどのような取り組みを行っていますか？

昨年の夏ごろからSDGsについて勉強するようになりました。昨年9月に数十年ぶりに会社のパンフレットをリニューアルし、SDGsの取り組みも掲載しました。現在は、SDGsの17のゴールのうち10項目に関する取り組みを進めています。

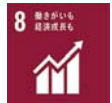
特別、新しく始めたことはなく、既に取り組んでいたことを目標のゴールに当てはめていきました。パンフレットの表紙に使用している「バナナペーパー」が、SDGsの17の目標全てにつながっている日本初のフェアトレード(公正な取引)認証の紙になっています。

【(株)福萬組のSDGsの具体的な取り組みの一例】



ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう ※みんなの現場をピカピカ隊(女性パトロール隊)の結成※

内勤をしている女性社員が工事現場に行き、現場の環境などの改善を図り、建設業のイメージアップにつなげることを目的に、平成25年ごろから行っている取り組みです。殺風景で汚れがちな現場にいる社員が少しでも快適に働けるよう、女性目線で環境を整備するお手伝いをしています。



ゴール8 働きがいも経済成長も ※社内活動制度の導入※

仕事以外の部分での共通の趣味を持ち、年齢に関係なく交流できるように導入しました。コミュニケーションを図る機会として導入したので、強制参加ではありませんが、上下関係なく若い社員の意見を聞ける場の1つでもあります。

SDGsに取り組む前後で、社内に変化はありましたか？

ピカピカ隊の女性パトロール隊の取り組みにもありましたが、普段、気付かないところに気付くようになったり、社員同士の思いやりや心掛けがさらに深まったように思います。また、社内にもSDGsの目標を掲示しており、SDGsのロゴを見ることで社員にも気に掛けてもらえるようになりました。



「バナナペーパー」を使用したパンフレット



取締役副社長
ガーディナー つかこ 司子さん



陶芸部や料理部の活動

ライフスタイルに合わせた労働環境の整備を目標に掲げていますが、そのために社内で推進していること、心掛けていることなどありますか？

昨年、男性社員で初めて1カ月半の育児休暇を取った事例がありました。取得した本人も子どもの成長に関わることができて良かったと言っており、今後、もし育児休暇を取得する男性社員がいた場合は、取得する時期(生まれてすぐ、小学校に入る前など)に柔軟に対応できるようにと考えています。

建設業はまだ男性社会というのが現状ですが、やる気があれば男女は問わないと思います。「誰もが働きやすい、目指したくなる憧れる業界」になっていかなければ、担い手不足で失速してしまいます。男女平等というより、男女尊重を重視していますので、お互いの得意なことを生かし、みんなが働きやすい職場にすることを心掛けています。

最後に、仕事をする上で大切にしていることを教えてください。

社員に対する感謝を忘れないことです。これは、社員満足度の高い企業、選ばれる企業の基本だと思っています。若い社員が上司に言いたいことを言えない雰囲気を作り、社員にも直接でなく、誰かを經由してでもいいので自分が思っていることを言ってほしいということを伝えています。

また、現在、創業から72年経過しましたが、100年生き残れるために、時代とともに進化、変化できる企業を目指しています。青森から世界へ…将来的には海外進出も視野に入れ、引き続き、社員一人一人が「福萬組で働いていて良かった」、お客さまが「福萬組に仕事をお願いしたい」と思えるような企業を目指していきたいです。

◆◆インタビューを終えて

副社長が入社したときに1番変えたいと思った事は、建設業独特の怖い、堅いというイメージだったそうです。今回、福萬組さんを訪問し、社員の皆さんのお話を聞く限りでは、全くそのようなイメージは受けず、社員の皆さん一人一人が生き生きと働き、上司と部下の垣根を感じさせない雰囲気でした。普段からコミュニケーションづくりに積極的に取り組んでいることが、SDGsの目標達成につながる一歩だと感じました。

「笑顔」があふれる社会を目指し、目標達成のために一人一人ができることを実践していきましょう。



現在、オーストラリア在住の副社長とウェブ会議ツール「Zoom」を利用した取材

◆◆編集後記

- よりよい未来、幸せのために、できることを考えて行動していきたいです。(U)
- 職場によっては我慢、忍耐の場所もあると思うので、本音が言える職場に変えることが大切だと思います。(K)
- 男女、上司と部下、お互いコミュニケーションをとって尊重し合うことがSDGsにつながりますね。(S)
- 子どもが生まれてから「この子が大人になったときはもっと社会環境が良くなっているはず」と思っていたが…(N)

ホットな一句



「さんかく日和」その19

Akemi.N



編集

十和田市男女共同参画市民情報誌ゆっパル編集委員

漆館 優美花、木村 奈生美、新藤 幸子、中野渡 明美

発行

総務課 広報男女参画係 ☎①6702